

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円～/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインスビル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。



孤児院を卒業したカイくん(前例右)がみんなのためにお菓子や飲み物を持ってきてくれました! (カンボジア孤児院)

皆さまの御支援、御協力、心から感謝申し上げます。

2019年が始まり、早ひと月が経ちました。皆さまの御記憶にもまだ新しいことと思いますが、1月3日に九州の熊本で、震度6弱の地震がありました。報道では、前回の熊本地震のような被害報告は無い、とのことで、安堵しました。そして13日には、今度は関東を中心として、やや強い地震がありました。これも被害は無いようで、やはり安堵しました。しかし、短い期間での地震により、今年は何が起きても不思議では無い、と思っておられる方が多いようです。

災害は地震以外にも多くのものがあります。また、その規模によっては多くの孤児が生み出されてしまうことも十分考えられます。私共孤児院も、それらのことを視野に、色々と準備、働きを進めて行く必要を感じさせられました。

働きと言えば、2019年1月1日に、東京の有志の方々がチャリティーコンサートを行ってくださり、多くの方々に私どもの働きを知っていただく機会となり、本当にありがたく思いました。また、多くの地域でも、やはり有志の方々がチャリティーコンサートを行って下さったと聞き、感謝に絶えません。

確かに、世界には、私共と皆さまの助けを必要としている子供たちが大勢存在しております。

これからも皆さまと共に、1人でも多くの子供たちに助けの手を差し伸べたいと願ってやみません。どうぞ、これからも皆さまの御支援、御協力、何卒よろしくお願ひ致します。

認定NPO法人 礎の石孤児院 理事長 北野 直人

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。

2018年12月に、日本のNPO団体の皆さんが訪問して下さいました。毎年1回必ず訪ねて下さり、子ども達の成長をととても喜んで下さっています。

私達も、継続したご支援にととても励ましを頂いています。今回も、米や調味料、文房具類、衣類など、沢山のご支援の品々を届けて下さいました。米や衣類など丁度必要がありましたので、大変助かりました。皆様からの、折になかったご支援に心から感謝しています。

最近、長年使って来たテレビや中古だったCDプレーヤーなど、機械類の故障が続きました。どれも古くなり寿命が来た、と思いつめていたのですが、現在18歳になるYは機械類の修理が大変好きで、自分に修理させてくれ、と言って来ました。ダメ元でお願いしてみると、何とテレビが点くようになり、CDプレーヤーも聴けるようになりました。子ども達が、いろいろな面で思った以上に成長していることがわかった、嬉しい出来事でした。



訪問して下さいましたNPO法人コミュニティ時津の皆さんと一緒に

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピンの子どもたちに対する皆様のご支援を心から感謝致します。

2018年12月30日、メルグランデ海浜公園で、各地域の礎の石孤児院就学支援生が年に一度集まる感謝パーティーを行うことが出来ました。就学支援生が47名スタッフや保護者を合わせて68名が集まりました。準備に4日かかりましたが、実際のパーティーは、津波注意報が出ていたこともあり、5時間で終わりました。去年より時間は短かったのですが、新しい年を迎える前に皆が集まり、とても楽しい時間を過ごすことが出来たことを感謝しています。

また、皆様のご支援により今の学年が終わる前に学校への支払いも終わることが出来、子どもたちは学校のクリスマスパーティーにも参加することが出来ました。皆様のご支援を心から感謝致します。

2019年が皆様にとって素晴らしい年となりますように。本年も引き続き、フィリピンの子どもたちへのご支援をよろしく願いいたします。



学校で行われたス年末感謝パーティーの様子カウトキャンプの様子

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?

皆様の日頃からの尊いご支援に心からの感謝を申し上げます。雨季に入ったザンビアでは、今年は順調に雨が降りしきり、ホッとしています。

スティーブとデヴィッドは日本で農業を学ぶために、日本語を毎日学んでいます。まだ受け入れ先を探している状況です。お心当たりのある方、途上国の若者の育成に関心のある方は、是非、東京事務局にご一報ください。

また、カレブの会計士の資格を取るための進学費用も、どうぞ宜しくお願い致します。

ここ数ヶ月、各国にある孤児院の運営費が不足しがちで、現場の働きと生活に大きな圧迫を与えられています。ザンビアではガソリン代が20%値上がりしたことに伴って、物価も更に上がってしまいました。

その中であって、孤児たちが安心して生活できる環境を、継続して与えていくことができるように、皆様のご協力を宜しくお願い致します。



デヴィッド(左)スタッフと共に

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。

ブラジルは今夏休みの季節です。ブラジルではナタウ(故郷の意味)というクリスマスと新年のこの期間中、新年度が始まる2月まで、ブラジル人はそれぞれ帰省して行き、街はひっそりとしています。最高気温が37度まで上がり、あまりに暑い時は、冷房のきいている図書館で涼んでいます。不思議ですが、暑いと回らない頭も、冷やすと働いてきます。

この休みの期間を利用して、集中して調べ物をする事ができました。近年ブラジルでは特に大都市部を中心にストリートピーブルが増加しています。IPEAという団体が行った調査では、101854人、10万人以上が路上で寝泊まりしています(2016年)。また、IDESTという民間機関が政府との協力で2011年に行った調査によると、23973人の0-18未満の子供・青年(0-12未満が子供、12-18未満が青年とカテゴリがあるようです)が路上生活をしています。リオとサンパウロで40パーセントを占めています。様々な社会問題を引き起こしていますが、政府は2020年にはストリートピーブルの人口調査を廃止するとも言っているそうです。ブラジルに多くの必要があります。どうぞさらなるご支援をよろしく願いいたします。



図書館前にて、松本スタッフ